

発行所 鹿児島市鶴池新町1-7  
鹿児島県社会福祉センター内  
鹿児島県母子寡婦福祉連合会  
電話 099-258-2984  
発行人 黒武者 キミ子  
編集 橋木 ハル  
嶽釜 貞子  
上蘭 敏子

鹿児島県  
母子会だより

県母連の動き	
4月1日	母子会便り癡集委員会
4月24日	九州地区人会第1回運営委員会(佐賀県)
4月25日	福岡県、熊本県の喫茶店見学
5月10日	母連監査
5月14日	理事会
5月17日	評議員会
6月11日	理事会
6月17日	市町村長会 ～ 理事長祝賀会
6月21日	全母子会、理事会、評議員会
7月5日	大分県喫茶店見学
7月8日	研修部、事業部会
7月13-17日	お母さん旅行(ハイワイ)
7月22日	市町村幹部懇親会
7月25日	九州地区大會第2回運営委員会
8月5日	母子会便り癡集委員会

黒武者理事長は、昭和四十三年に薩摩郡の評議員として選出され、のち県母子寡婦福祉連合会理事長として二十二年、足元の入来町の母子時代を入れますと三十年近くを母子福祉の道一筋に歩んできました。しかしこられたわけでございます。今まで種々の授賞をうけて来られましたか、「いたいではない」とお祝いなどわり続けて今日になりました。しかし、この度の授賞は期間といい、年齢といい最後のチャンスではなかろうかと思ひ、理事長は「私はもの好きだからこうしてやっている丈、やつていること少しも苦にならない」と、よくいわれます。母子会の事のみ朝夕考へ続けていらしゃる様で、その生きかたには真

発起人のあいさつ



黒武者キミ子理事長

黒武者キミ子理事長の  
叙勲受賞を祝う集

平成八年六月十七日  
サンロイヤルホテル 太陽の間

保健福祉部児童福祉課  
課長 長谷 敏子



今年の夏は連日猛暑が続いております。母子会の皆様方が元気で頑張つておられることが思います。私はこの四月児童福祉課長に就任しました。どうぞよろしくお願ひします。

以前、ほんの一年ですが、婦人母子係長として仕事をした経験があり、当時の事をなつかしく思いだします。母子会の理事会や研修会等に出席

しては、元気すぎる黒武孝  
貸資本間に圧倒され、課内では  
資本計算の電算システム開発に頭を抱え、人間問題解決策は仲々歩みが遅く、印象深  
い事柄ばかりです。今、久く振り最近の「母子会だより」  
を見てしまして各般の役に立つ情報が満載されているので驚きました。大会等の  
適格な要約や制度の紹介、地域のニユースと、それもイラスト入りでわかり易い編集となっています。「だより」が  
子育てと仕事に追われる会の行いには出席が難しい若い母の  
家庭の方々に、「共感と元気」の源となるに違いないと感じた次第です。さて我が国も少子化社会と言われ、私共の課

でも少子化対策のひとつとして、健やかに子どもを生み育てる環境づくりをすすめていきたい。家庭における子育て支援の場として、地域社会全体で支援する環境をつくることが必要と考えます。特に「母子・父子家庭」に対する相談、学習機会の場を持つたるよう、手当等の経済給付、賃貸資金の充実等子育て支援の視点からの位置づけもしております。(併せて、子育てを終えた方々には子育ての経験や豊富な知恵を地域社会で生かしていくけるような方策等も望ましいと考えております)。終わりに今後は母子会員の皆様の御発展を祈念しまして私のあいさつといたします。

しかし、時には六ヶ月も先の講師の事であつたりしますから、当然なりやかならない事も度々で、ずいぶんがゆい想いをしていらつしやる事でしょう。いつもいつも叱咤激励されながら前へ前へと、歩み続けております。

県母連では、若年母子家庭の組織づくりにも力を入れております。今回児童福祉法が改正されますが、先づ、子がいなかから直接やさしい方向に変わってゆきます事を心より願うものでござります。全国の母子会長には、事業型と研修型があるそうです。理事長は、自分で研修型の様

から敬服いたしております。時に思ひぬ所で思ひがけない事をいよいよ思い出されません。  
「さて、何の事だったかなあ」と、思いめぐらしながら一呼 吸入れてやつと、思い当る事が多く「ははあ、成程」と素 ました時は大変だったろうと思ひます。まだ十分のままでなく、財政は赤字の状態でございました。今、いくらか余裕を持ちながら、各種の補助、委託 自主事業を県下九〇の市町村

だと話されます。まさにおっしゃる通りで、全国では母子団体協議会副会長をなさり、九州では九州ブロックの部会長の重責があり、全国・九州の大会等では殆んど企画の中心となり、皆の意見の調整をはかっています。

七月月中旬には、会員三十四名と「お母さん旅行」でハワイへいらっしゃる筈です。

当面の問題をいたしまして

けましたら幸いに存じます。  
今後とも皆々様のご支援の  
程をよろしくお願ひ申しあげ  
ます。

本日ご出席を賜わりました  
こと、誠にありがとうございました。  
(上巣記)

山百合

第24回お母さん旅  
行は七月十三日から  
十七日まで四泊五日  
のハワイ旅行。一行  
35名、平均年令70歳  
位、旅行好きのオバ

お礼のことば 黒武者 キミ子

A black and white photograph showing a group of approximately 20 women seated around a long, rectangular table in a large hall. The women are dressed in formal attire, with many wearing dark blazers over light-colored dresses. They are looking towards the right side of the frame, where a woman in a dark dress stands, gesturing as if speaking. The room has high ceilings and large windows in the background.

人となつてきちんと暮してゐる。同じ道を歩いて来た者同士、母・妻も含い、心も分るお母さん。旅行ならではの仲間の「ちだつた」▼職業苦勞だけの人生ではつまらない。楽しい思い出も残そう。バスポートの旅。ある中に来年も又々。ニュージーランドは?と希望をふくらませて話ははずむ▼「趣味旅行」何でいる人は、病氣のものでない。希望を失つた時に、人間は生きる。目標を持てば、外的刺激を受ける。若くなる生きる希望に通ずる」と書いている。



## 下村家のファミリー通信



下村キヨさん。大島郡天城町前野。

「私の大事なファミリーは、9名（男4、女5）の子供プラス配偶者7名、その子ども達（孫）が3名、結婚して配偶者3名、その子ども（ひ孫）4名：合計27名の大家族です。」

北は秋田県から愛知県、東京都、大阪市、京都府と分散、それぞれの分野で生活しています。」

5女恵美ちゃんの結婚を機会に、兄弟姉妹全員が大阪に集まつた時、ファミリー通信を発行する事になった。発行責任者、編集者は長男の下村純夫と決まる。

**創刊号**

◆おまたせ!!ファミリー通信第1号が出来ました。家族のコミュニケーションの場として、今後も発行していくことを考えてます。家族情報、地域情報、写真その他何でも結構です。どうぞ送ってきてください。

◆母ちゃん元気に東奔西走!!地域活動で外出のこと。元気に頑張っている証拠です。

**第9号**

◆墓石建造、カンパのお願い!!  
来年の父（栄二）の25回忌を節目に、墓石の建造を予定しています。すでに実行に移りつつあり、この9月には基礎工事予定です。工事費は130万程度必要で、母ちゃんは「あまり子供には迷惑かけたくない」と言っていますが、私達9人の兄弟姉妹、何かと物入りの昨今ではありますがあなたが来る範囲で協力していませんか。

◆母ちゃん10年頃上阪予定。

**第10号**

◆兄弟姉妹全員のカンパ集まる。なんとカンパ総額110万円。  
私たちファミリーの底力をさまざまと見せつけた感じです。母ちゃんも予想しなかつた金額に大喜び、お陰で借金に頼ることなく墓石の建造ができそうです。父ちゃんも天国で焼酎を呑んで鼻歌を歌いながら「さすが、おいの子供達」と喜んでいることでしょう。

**第18号**

◆下村家の墓、リツバに建造。ファミリー今、再び全員集合。次女「いつ子」が東京に発つ前、母が「家族全員顔を揃える事はめつたない。この次は何時になることやら…」と。あれから20数年、平成2年、5女恵美の結婚を機に、母と兄弟姉妹全員が大阪に集まつたこの時が、このファミリー通信発刊のきっかけともなった。

それから3年後の今回、故郷徳之島で再びこうして集まることが出来た。家族全員がこうしてわだかまりを持たず、笑顔で再会できた事はとても素晴らしいことだ。立派なお墓も建てる事ができた。これからもお互いにファミリーの絆を大切にしていこう。たのんまつせ。



郵便によるさつま焼いもの冷凍パック全国発送  
各種弁当・精進料理・会席料理・仕出し  
パーティー料理・オードブル・棟上げ新築祝料理  
その他、ご予算に応じて多少にかかわらず配達いたします。

# こうなん でりか

本社 鹿児島市谷山港2-1-5

事業所 県経済物流センター食堂・県立南薩少年自然の家食堂  
県立保健看護学校食堂・コープかごしま南谷山店「味の郷」  
鹿児島市少年自然の家・こうなんなりが宇宙店  
アジア太平洋農村研究センター食堂  
レストラン和光（都城市）・こうなんなりが城南店

予約専用

鹿児島 (099) 261-8851



### すこやか講座に学ぶ

串木野市会長 嶽釜 貞子

七月二十七日の夜、串木野高等学校の生徒指導の稻田博美先生をお迎えしてすこやか講座を開催した。先ず「望ましい母子のあり方」について先生のお話を聞いた。「十五歳！十六歳、中三、高一に犯罪が多発している。煙草を吸い英雄的どり、ズボンを下におろして着たり髪の毛の茶髪、鼻にピアスをして人眼を引き目立ちたがります。」と語られた。そして親の姿勢が一番大事。①駄目なことは「駄目」とはつ

きり云える親、②友達の悪口を云わない親、③友達のランク付けをしない親、④言葉で傷付けない、⑤叱った後はからず諭してくれる親、⑥社会について行く過程を練習させる道場である。⑦お袋の味の子どもが会社に長続きしない理由は、①高校時代の娘がない、②挨拶が出来ない、作業もいわれただけで進んで自分が見つけようとしてない、③人間関係づくりが出来ないがはつきり言えない、④自己中心主義、感謝する心、挨拶する心が養われていない、頭では理解しているが体がついていかない。昔は地域の共同体がしっかりとしていた。串木野の子ども達に強いが、親に責任生があるように思われる。しかし、親は本当に親に責任生があるのですが、もう家庭で手がつけられなくなっている状態でいる。流行を追う。20歳になると、毎月の茶髪、鼻にピアスをして人眼を引き目立ちたがります。」と語られた。そして親の姿勢が一番大事。

①駄目なことは「駄目」とはつ

### 母と子の交歓研修

曾於地区 枝山 ナミ

「良い子の皆さん、お早うございます。右を見てください。ハーフ。今度は左を見えてください。ここにおられる男性の方が皆さんの今日一日のお父さんになつてくださるお父さんになつてくださる方です。おんぶされ、だっこされたりして大きに甘えてください。そして楽しい一日でありますように」の挨拶で始つた。来賓祝辞は福祉事務所長さ

がしゃべりしていた。串木野の子ども達に強いが、親に責任生がある。今日はようこそ松山町の教育長さん、歓迎の言葉は松山町児童代表の肥後さん一家。山町児童代表の肥後さん一家。町母子チーム。第二位、輝北部閉会行事。講評福祉事務所長の言葉。アトランタのオリエンピックアスリートたちが、より盛り上がり、みんな上手で楽しめた。事例を混えながら、軸をはつて子ども達を見守りご友達も沢山出来ました。

普段は黒ズボンのまま競技に参加、あつちに走り、こつちで遊び、笑いが止らないひとこまもあった。成績は、優勝チーム、財部町母子チーム。第二位、輝北部閉会行事。講評福祉事務所長の言葉。アトランタのオリエンピックアスリートたちが、より盛り上がり、みんな上手で楽しめた。事例を混えながら、軸をはつて子ども達を見守りご友達も沢山出来ました。

新しい一日でした。来年は財部町でお待ちしております。

色々行政の指導もいただきながら、

お母さん

母子会に入会してとても心

強く思っています。よろしく

私はこの素晴らしい子どもの

言葉を聞いて、あよくやつ

たと自分で自分をほめた。そ

して血液の逆流を感じ涙が止

らなかつた。

午前中はミニバレー、午後

はプールで水泳、楽しさにま

ぎれ福祉事務所長さんも我を忘れて、黒ズボンのまま競技に参加、あつちに走り、こつちで遊び、笑いが止らないひとこまもあった。

成績は、優勝チーム、財

部町母子チーム。第二位、輝

北部閉会行事。

講評福祉事務所長の言葉。

アトランタのオリエンピックアスリートたちが、より盛り上がり、みんな上手で楽しめた。事例を混えながら、軸をはつて子ども達を見守りご友達も沢山出来ました。

普段は黒ズボンのまま競技に参加、あつちに走り、こつちで遊び、笑いが止らないひとこまもあった。成績は、優勝チーム、財部町母子チーム。第二位、輝北部閉会行事。講評福祉事務所長の言葉。アトランタのオリエンピックアスリートたちが、より盛り上がり、みんな上手で楽しめた。事例を混えながら、軸をはつて子ども達を見守りご友達も沢山出来ました。

普段は黒ズボンのまま競技に参加、あつちに走り、こつちで遊び、笑いが止らないひとこまもあった。成績は、優勝チーム、財部町母子チーム。第二位、輝北部閉会行事。講評福祉事務所長の言葉。アトランタのオリエンピックアスリートたちが、より盛り上がり、みんな上手で楽しめた。事例を混えながら、軸をはつて子ども

